

科目名称：	地域美術演習	
担当者名：	和田 紘樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業の目的は、美術の力を使い地域の特性や魅力を発見・発信していくことである。特に本学が立地する白山市を中心とした地域の伝統文化産業や自然遺産への理解を深め、野外スケッチや伝統民俗工芸制作など現地でしか体験できないことを学習する。この授業は、1年生全員が履修する必要がある必修科目であり、2日間の宿泊研修を伴う演習とする。各コースに分かれて初めて取り組む課題であるので、地域に関する共通理解を基に、コースの特性を活かした企画提案を期待したい。		
授業の達成目標・到達目標		
地域の理解を深め、地域に関する作品を制作する。また各自治体から具体的に依頼があった案件については、学生自ら積極的に企画提案を行うことで、企画・提案力を身につける。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)			80	20	100
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	とても良い	良い	できている	要努力
事前調査	地域の文化や歴史について積極的に調べ、十分に準備され、学ぶべき目的を持って臨んでいる。	地域の文化や歴史について積極的に調べ、十分に準備されている。	地域の文化や歴史についての調査や準備がある程度できている。	地域の文化や歴史についての調査や準備が十分にできていない。
作品制作	地域の文化や歴史について積極的に調べ、依頼やテーマを十分に理解し、素晴らしい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について積極的に調べ、依頼やテーマを理解し、とてもよい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について調べ、依頼やテーマを理解し、よい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について調べることには消極的で、依頼やテーマを十分に理解しないまま、作品制作をしている。
遊学心	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけ、将来に生かす事ができる。	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけた。	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学んだ。	地域で様々な考え方や文化を学ぶ意識が薄い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 事前研修 地域美術演習の意義について	地域と結びついている美術活動について調べておく	40分
第2回 事前研修 当該地域について	地域について下調べをしておく	40分
第3回		
第4回		
第5回 合宿研修 1日目 地域の見学・取材。また、地元企業・団体グループワークやプレゼンテーションを行う	合宿に必要な取材道具の準備	40分
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回 合宿研修 2日目 地域の見学・取材。また、地元企業・団体グループワークやプレゼンテーションを行う	合宿で取材をした内容や写真などをまとめておく	40分
第11回		
第12回		
第13回		
第14回 地域美術演習成果展 作品展示	地域の取材から得られたものを参考にし、作品制作を行う。	270分
第15回		

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。特に作品制作においては、授業外での自主的な制作態度が作品の完成度を左右する。授業外学習の習慣をしっかりと身につける。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
提出作品80%、授業への積極的関与20%を総合して評価する。

課題に対してのフィードバック

課題作品を地域美術演習成果展に展示し、各コースの担当教員が作品について講評する。

教科書・参考書

授業の中で随時紹介する。